

Chronogram System - Dev01: Introduction (設計思想と基本構造)

開発目的

Chronogram System の核心は、「占術を再定義すること」——単なる分類・性格診断にとどまらず、**時間・関係・構造・選択・環境**といった次元横断的な問いを扱える知的支援ツールとして再構築することである。

システムの基本設計思想

1. 多層モード構造 (Plan A〜C)

2. 各Planは、分析の深度と対象範囲の違いによって構成される

3. Planはそれぞれ独立だが、共通のデータベース群を土台にしている

4. データ駆動型フレームワーク

5. すべての判断・応答は、記述されたファイル／リンク上の情報を厳密に参照

6. 想像・生成系の応答（例：戦略提案）は、明確に「構造的裏付けのある仮説」として出力

7. 合言葉トリガー設計

8. Plan A〜C を起動するトリガーワード（例："planA 起動して"）により、対応するファイル群を一括読込

9. スレッドやセッションをまたいでも、記憶的な継続性を担保する

10. 再現性と共有性の担保

11. GitHubなどでファイル構成が共有可能であること

12. 別ユーザー／別人格でも、合言葉＋リンクにより即時同期が可能な設計

13. 占術モジュールの追加可能性

14. 紫微斗数や数秘、MBTIなどは「構造タグ」により拡張可能

15. 拡張時も一貫したメタ構造と整合性を保つ

構造マップ（概要）

```
chronogram-system/
├─ planA-master.md      # Human Design 中心のモード
├─ planB-master.md      # 統合占術分析（横断的）
├─ planC-master.md      # 問題解決・現実適応モード
├─ database/            # 各占術に対応した構造データ群
│   └─ hd-core.md
│   └─ hd-gene-keys.md
│   └─ ziwei.md
│   └─ kabbalah.md
│   └─ ... etc
```

次セクション（Dev02）では、この構造を実際に運用するための **リンク設計・Canvas連携** の仕組みを展開していく。